

# 学報

2013年 9月 Vol.673



オープンキャンパス2013（8月6日～8日）

The Global Lectures of Gifu Universityを公開 .....	1
岐阜大学長期インターンシッププログラム（GULIP）の開講式を開催 .....	2
シンシナティ市長が学長を表敬訪問 .....	3
2013年度留学生センター日本語・日本文化研修留学生の日本研究発表会を開催 .....	3
岐阜大学オープンキャンパス2013 実施結果 .....	5
第62回東海地区国立大学体育大会で男子総合優勝 .....	6
平成25年度岐阜県下ユネスコスクール研修会を開催 .....	7
「岐阜大学フェアin飛騨高山2013」を開催 .....	8
産学連携の実施状況 .....	9
外国人研究者の受け入れ .....	10
主要日誌 .....	10
人事異動 .....	《学内限定》11

## The Global Lectures of Gifu University を公開

7月19日（金）、岐阜大学の魅力を世界に発信するために、本学の研究内容・講義を、動画にし、公式WEBサイトにて「The Global Lectures of Gifu University（略：GLG）」を公開した。使用言語は英語とし、優秀な留学生や学生獲得を図り、また国内外の企業や一般市民が本学への関心を高めてもらうために作成したものであり、本学教員による「熱い語り」で、本学の講義や研究内容を伝え、世界に発信している。

今年度は、本学の教員7名が講師となって、自身の研究内容及び講義を映像化する予定であり、生命科学・環境科学分野の研究内容で7本の動画を作成して、公式WEBサイトに順次公開していく。

現在、公開されている動画は、「森秀樹学長：Introduction in the Global Lectures of Gifu University:GLG（岐阜大学グローバルレクチャー概要）」、「村岡裕由教授：Satellite Ecology：Crossroad of Plant Ecology and Climate Change Science（衛星生態学：植物生態学と気候変動科学の接点）」、「鈴木文昭教授：Science of Laughing - from Mol. Biochemical Aspect -（分子生化学的側面から見た「笑いの科学）」、「木曾真教授：Journey to the Glyco World（糖鎖世界への旅）」の4つである。

岐阜大学公式WEBサイトの日本語版及び英語版の両サイトから視聴可能。

日本語版公式WEBサイト URL：<http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=2524>

英語版公式WEBサイト URL：<http://www.gifu-u.ac.jp/english/view.rbz?cd=92>



GLGを紹介する森学長

## 岐阜大学長期インターンシッププログラム（GULIP）の開講式を開催

本学は、8月2日（金）、岐阜大学長期インターンシッププログラム（GULIP）の開講式を行った。

GULIPは、企業や公共団体等から与えられたテーマを、学生や大学院生がチームで取り組み、その解決案とともに考えていくPBL型（問題解決型）インターンシッププログラムである。これは、文部科学省「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に昨年度採択されたプログラムである。

このプログラムでは、大学院生をリーダーに学年の異なる学生7人程度で1チームを編成、企業研修を1週間程度行い、課題について状況や問題点を把握する。その後、大学に戻ってからは企業側担当者とメール等で連絡をとり、チームで解決策を検討、年内に中間報告及び最終成果発表を実施し、来年2月に報告書を提出して終了となる。このインターンシップを経て、参加学生は岐阜大学が提唱する専門職業人としての基盤的能力を習得することが期待される。当初、30名程度の学生の参加を予定していたが、48名の学生が参加するなど学生の興味・関心も高く、また、岐阜県庁、岐阜大学及び企業等7団体が参加し、それぞれのテーマに取り組んだ。

開講式では、廣田則夫理事（教学・附属学校担当）の挨拶に始まり、GULIPを担当する廣瀬特任准教授の概要説明の後、参加団体の課題説明のプレゼンテーションが行われ、「タブレット端末が普及する中での企業のIT活用の在り方」、「社員間の情報共有の促進、社内コミュニケーションの活性化策」等が示された。続いて、参加する大学院生、学部生代表の挨拶があり、最後に、佐々木実キャリアセンター長が「いつも成功するとは限らないが、失敗を恐れずにがんばってください」と締めくくった。

続いて行われた懇談会では、学生達が課題に興味を持った団体や企業の担当者を囲み、インターンシップに限らず、会社の社風や職場の雰囲気について活発な意見交換が行われた。参加した学生は、「企業のプレゼンに圧倒された。あのようなプレゼンができるようになりたい」、「これからの活動が楽しみ。これをやると胸を張って言えるものにしたい」とGULIPにかかる意気込みを熱く語った。



概要説明する廣瀬特任准教授



参加学生代表の決意表明



懇談会の様子

## シンシナティ市長が学長を表敬訪問

8月2日（金）、アメリカ合衆国オハイオ州シンシナティ市からマーク・マロリー市長ほか3名の代表団が森秀樹学長を表敬訪問した。

シンシナティ市は、美しいオハイオ川に沿った7つの丘の上に築かれた「クィーン・シティ」の愛称で知られるオハイオ州南西部に位置する州内第3の都市である。また、「グレーター・シンシナティ」と呼ばれるオハイオ州、ケンタッキー州、インディアナ州にまたがったエリアには、本学と学術交流協定を締結しているノーザンケンタッキー大学のほか、シンシナティ大学などの多数の大学が本拠を置いている。昭和63年5月には岐阜市と姉妹都市提携を結んでおり、今回、25周年を記念して岐阜市及び本学を訪問したものである。

表敬訪問では、岐阜大学の現状や企業との連携等について意見交換があり、懇談が行われた。

その後、ノーザンケンタッキー大学が実施する約3週間のサマープログラムへの参加を目前に控えた本学工学部学生と交流の機会が持たれ、現地の風土についての質問やサマープログラムにおける抱負を述べる学生へ市長から激励の言葉がかけられた。



森学長（後列中央）、マーク・マロリー市長（前列左から2番目）及び代表団



シンシナティ代表団と工学部学生との懇談

## 2013年度留学生センター日本語・日本文化研修留学生の日本研究発表会を開催

留学生センターは8月4日（日）、岐阜市立図書館との共催により、岐阜大学サテライトキャンパス多目的講義室において、日本語・日本文化研修留学生（日研生）による日本文化研究発表会を開催した。

日研生は、毎年10月から翌年8月までの約1年間、海外の大学や学術交流協定校から本学に留学し、日本語と日本文化について学び、その集大成として修了論文を執筆する。論文のテーマは、留学生が興味のあるものを選び、教員の指導を受けながら論文を完成させる。

今年の日研生は第12期生で、韓国、スウェーデン、タイ、チェコ共和国、中国、ベトナムから本学に留学している11人（うち5名は大使館及び大学推薦による国費留学生）が論文発表を行った。今期の発表学生数は過去最多で、国籍も6カ国と多国籍にわたった。

当日は、本学教職員、学生、留学生の他、一般市民の方も多数参加し、大盛会となった。また、今回は日本人学生の来場者が例年より多く、留学生との交流の広がりが垣間見られた。

発表会では、日研生達は緊張しながらも、日ごろの学習や研究成果を発揮し、留学生目線ならではのテーマで、それぞれ流暢な日本語で研究発表を終えた。民族衣装で発表する日研生も多数おり、会場を華やかに盛り上げていた。

また、会場からの難しい質疑に戸惑う場面もあったが、的確に対応し熱い声援を受けていた。来場者アンケート調査でも彼らの日本語能力や発表に対する賛辞が多数あった。



日研生は、8月22日（木）の修了式をもってすべてのプログラムを終了し、その後帰国した。帰国後はそれぞれの所属大学に戻り、勉学に励む。本修了生の中には、本学大学院や他大学大学院に留学のため、再来日する学生が多数いる。

また、留学生の各論文を掲載した「修了論文集」を毎年発行し、日本語教育関係機関等に配布している。以下が今年度の修了論文テーマである。

日本とベトナムの保育所・幼稚園  
 中国の大学の「母語教育」について  
 日韓における結婚の現状の比較  
 銭湯文化の韓日比較  
 日本人学生と外国人留学生のコミュニケーション  
 「信長ゆかりのまち」・岐阜市文化財戦略  
 現代の若者が用いる強意語  
 日・タイの若者のことわざの使用度と認知度  
 箸から見る日本と中国の違い  
 カラスへの見直し  
 現代おみくじ考

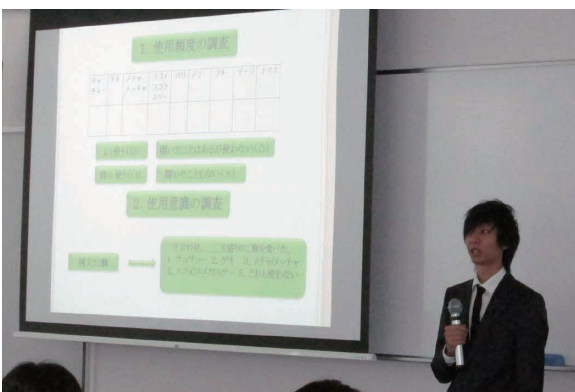
ダン・ティ・タイン・トゥイ（ベトナム）  
 姚 瑶（よう よう・中国）  
 尹 ミレ（ゆん みれ・韓国）  
 金 民愛（きむ みんえ・韓国）  
 ドレジャロヴァー・エヴァ（チェコ共和国）  
 孫 瑾（そん きん・中国）  
 ヒュン・クリストファル（スウェーデン）  
 マンコーソン・コーラパン（タイ）  
 イウ・ダニエル（中国）  
 林 瑜佳（りん ゆか・中国）  
 クースワン・パークプーム（タイ）



現代のおみくじについて



日研生全員で記念撮影



現代の若者言葉について



日本とタイのことわざについて

岐阜大学オープンキャンパス2013 実施結果

1. 開催日

- 平成25年8月6日(火) オープンキャンパス 教育学部(要予約)・医学部看護学科(要予約)
- 平成25年8月7日(水) オープンキャンパス 医学部医学科(要予約)・工学部(要予約)・応用生物科学部  
 プチオープンキャンパス 医学部看護学科(要予約)・教育学部・地域科学部
- 平成25年8月8日(木) オープンキャンパス 地域科学部(要予約)・応用生物科学部  
 プチオープンキャンパス

2. 内容

岐阜大学の各学部(学科)の概要・入学者選抜方法等説明, 施設見学, 体験授業・実験, 窓口相談

3. 申込状況と参加者数

OC: オープンキャンパス POC: プチオープンキャンパス

学部名	教育学部		地域科学部		医学部 医学科		医学部 看護学科		工学部		応用生物 科学部		計		
	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	1日目	2日目	OC	POC	予約
申込(web)※1	979	-	260	-	243	-	360	70	1,073	-	-	-	-	-	2,985
昨年の申込者数	1,070	-	272	-	200	-	381	130	1,019	-	-	-	-	-	3,072
伸び率	91.5%	-	95.6%	-	121.5%	-	94.5%	53.8%	105.3%	-	-	-	-	-	97.2%
参加者計※	902	206	285	42	203	-	357	57	1,004	-	1,285	908	4,944	305	-
	1,108		327		203		414		1,004		2,193		5,249		-
参加/申込者計	92.1%	-	109.6%	-	83.5%	-	99.2%	81.4%	93.6%	-	-	-	-	-	94.1%
昨年の参加者数	964	310	310	36	166	-	354	109	864	-	1,333	1,015	5,006	455	-
	1,274		346		166		463		864		2,348		5,461		-
伸び率	93.6%	66.5%	91.9%	116.7%	122.3%	-	100.8%	52.3%	116.2%	-	96.4%	89.5%	98.8%	67.0%	-
	87.0%		94.5%		122.3%		89.4%		116.2%		93.4%		96.1%		-

※1 教育学部・地域科学部・医学部医学科・医学部看護学科・工学部は, 事前の申し込みを必要とし, web上で行った。  
 医学部医学科は, 参加者数に定員(240名)を設けた。  
 医学部看護学科は, 参加者数に定員(OC400名, POC160名)を設けた。

4. 岐阜大学 オープン・キャンパス 2013 参加者構成比

学部名		教育学部		地域科学部		医学部 医学科		医学部 看護学科		工学部		応用生物 科学部		計		割合(%)		
		OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	H25	H24	
高校生	3年生	男性	61	19	39	6	8	-	6	0	210	-	142	-	466	25	9.4	9.7
		女性	76	22	62	4	14	-	95	14	45	-	281	-	573	40	11.6	12.8
	2年生	男性	188	44	39	6	58	-	10	0	480	-	251	-	1,026	50	20.8	17.5
		女性	327	64	56	11	66	-	178	29	77	-	484	-	1,188	104	24.0	23.2
	1年生	男性	76	28	29	10	12	-	2	0	93	-	111	-	323	38	6.5	9.3
		女性	144	26	19	4	34	-	60	13	6	-	186	-	449	43	9.1	9.7
その他(保護者・ 過年度卒業生)	男性	2	0	4	0	8	-	0	0	30	-	236	-	280	0	5.7	5.6	
	女性	28	1	17	1	2	-	6	1	34	-	502	-	589	3	11.9	11.2	
未記入(不明)		0	2	20	0	1	-	0	0	29	-	0	-	50	2	1.0	1.1	
小計		902	206	285	42	203	-	357	57	1,004	-	2,193	-	4,944	305			
合計		1,108		327		203		414		1,004		2,193		5,249				

5. 出身県（あるいは所属学校所在地）

学部名	教育学部		地域科学部		医学部 医学科		医学部 看護学科		工学部		応用生物 科学部		計		割合 (%)	
	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	OC	POC	H25	H24
岐阜県	723	119	185	32	108	-	228	32	483	-	458	-	2,185	183	52.5	54.6
愛知県	156	75	64	10	82	-	107	23	451	-	577	-	1,437	108	34.2	31.9
その他	23	11	16	0	13	-	22	2	55	-	417	-	546	13	12.4	12.4
未記入（不明）	0	1	20	0	0	-	0	0	15	-	3	-	38	1	0.9	1.2
小 計	902	206	285	42	203	-	357	57	1,004	-	1,455	-	4,206	305		
合 計	1,108		327		203		414		1,004		1,455		4,511		100.0	100.0
岐阜・愛知県 の占める割合	H25	97.5%	89.0%		93.6%		94.2%		93.0%		71.1%		86.7%			
	H24	95.3%	93.6%		88.6%		94.6%		89.8%		73.4%		86.5%			

第62回東海地区国立大学体育大会で男子総合優勝

東海地区（岐阜・静岡・愛知・三重）の国立大学間では、学生の課外活動の健全たる発展と普及を図るとともに、学生相互の親睦を深めるため、「東海地区国立大学体育大会」が毎年開催され、本学からも多くの学生団体が参加している。

東海地区国立大学体育大会では陸上・水泳など20種目の競技が行われ、各大学からエントリーした選手たちが熱戦を繰り広げる。本学は、20種目全競技にエントリーし、毎年約400名近い学生たちが選手として参加している。

本年度は、各団体の健闘により、6種目において優勝を飾ることができ、男子の部で総合優勝を勝ち取ることができた。

<参加大学>

岐阜大学・静岡大学・浜松医科大学・名古屋大学・名古屋工業大学・愛知教育大学・豊橋技術科学大学・三重大学

第62回東海地区国立大学体育大会 成績結果（抜粋）

開催期間：平成25年6月1日（土）～8月11日（日）

成績結果【男子】

種目	優勝	準優勝	第3位
陸上競技	愛知教育大学	静岡大学	岐阜大学
水 泳	岐阜大学	名古屋大学	三重大学
硬式野球	名古屋大学	静岡大学	岐阜大学
バスケットボール	岐阜大学	静岡大学	三重大学
バレーボール	岐阜大学	静岡大学	愛知教育大学
卓 球	名古屋大学	静岡大学	岐阜大学
サッカー	静岡大学	岐阜大学	名古屋大学
ハンドボール	岐阜大学	愛知教育大学	名古屋大学
柔 道	名古屋大学	岐阜大学	静岡大学
剣 道	岐阜大学	静岡大学	名古屋大学
少林寺拳法	岐阜大学	愛知教育大学	静岡大学

## 平成25年度岐阜県下ユネスコスクール研修会を開催

8月19日（金）、本学は、岐阜大学サテライトキャンパスにおいて、平成25年度岐阜県下ユネスコスクール研修会を開催した。（共催：大垣ユネスコ協会、後援：ユネスコ・アジア文化センター、岐阜県教育委員会、岐阜県ユネスコ協会）

この研修会は、文部科学省の日本/ユネスコパートナーシップ事業の一環として、岐阜県下の学校のユネスコスクールへの加盟支援を目的とし、昨年度から実施している。ユネスコスクールとは、人権、民主主義、異文化理解、環境教育等の地球規模の課題解決に向けた質の高い教育の実践を通じて、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の理想を実現する学校である。また、ESD（持続可能な開発のための教育）の推進拠点としても位置づけられている。世界中に9,500校以上のユネスコスクールがあり、日本全国では約580校、岐阜県下では2校が加盟している（平成25年7月現在）。

今年度の研修会は、「ESDに対する理解を深め、ユネスコスクール加盟を目指す」をテーマとして行われた。小見山国際戦略本部長による開会挨拶の後、先進的なESD活動で知られる江東区立八名川小学校（東京都）の黄地健男教諭による、八名川小学校での取り組みの紹介があった。続いて、前任校の岐阜市立島小学校において県下初のユネスコスクール加盟を担当した野原清春教諭（現：長森南小学校）による、加盟についてのアドバイスを含む発表があった。その後、学校現場での国際理解教育活動・発展途上国支援等を行う岐阜県下のユネスコ協会（岐阜県ユネスコ協会・大垣ユネスコ協会）それぞれによる活動紹介、本学学生団体「ESD クオリア」による環境保全に関する活動についての発表が行われた。

当日は、岐阜県下の小・中・高等学校関係者を中心に約30名が参加し、研修会終了後には、参加者同士でそれぞれの所属校における課題について意見交換が行われた。研修会後のアンケートでは、回答者の大半が「ESD・ユネスコスクールについて理解が深まった」と回答しており、本研修会の開催を通じて、参加者のユネスコスクールへの関心が高まり、さらにESDへの理解が深められた。本学は、今後もユネスコスクール支援大学として、関係機関と連携しながら、県下のユネスコスクールやESD活動の支援を行っていく予定である。



熱心に発表を聞く参加者



学生団体「ESD クオリア」による発表



## 「岐阜大学フェア in 飛騨高山2013」を開催

8月22日（木）、本学は高山市と共同主催（高山信用金庫、飛騨信用組合共催）により、高山市民文化会館において、「岐阜大学フェア in 飛騨高山2013」を開催した。本フェアは、本学と高山市との包括連携協定の一環として、飛騨地区の高校生や企業関係者らに本学の教育、研究、社会貢献活動を知ってもらおうと、6年前から隔年で実施している。

4回目となる今回のフェアでは、特に地元高校への積極的な広報活動を行い、一般企業や自治体等からの参加を含め、全体では約250名が来場した。

フェア会場では、27テーマのポスター発表を行い、研究内容を紹介するパネルでは、iPS細胞や再生可能エネルギー、環境など、最新のトピックスや各学部の特徴ある分野のパネルを展示した。また、全5学部（教育学部／地域科学部／医学部／工学部／応用生物科学部）の学部・入試案内のパネルを展示し、参加した高校生等が興味を持って説明を聞き、積極的に質問していた。

その他、会場内では、大学の講義の雰囲気味わってもらおうと、「巨大地震による岐阜県の揺れは？被害は？（流域圏科学研究センター 助教・久世 益充）」、「岐阜県が日本を救う？親知らずからiPS細胞（大学院医学系研究科・再生医科学専攻 准教授・手塚 建一）」、「野生動物を知って効果的な獣害対策を！（応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター 助教・森部 純嗣）」の3つのミニセミナーも行われ、参加者は熱心に耳を傾けていた。



教員から説明を受ける参加者



ミニセミナーに聞き入る参加者

産学連携の実施状況

○共同研究 (平成25年 8月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学系研究科	手塚 建一	(株) 再生医療推進機構
工 学 部	服部 敏雄	イハラサイエンス (株)
〃	大谷 具幸	ヤマカトラストホームズ (株)
〃	山 縣 裕	ヤマハ発動機 (株)
〃	吉 田 敏	(株) マンダム
〃	櫻 田 修	河合石灰工業 (株)
〃	河 瀬 順 洋	東洋電機製造 (株)
〃	〃	スズキ (株)
〃	武 野 明 義	日本合成化学工業 (株)
〃	神 原 信 志	東北電力 (株)
〃	吉 田 佳 典	JFE スチール研究所
〃	小 林 孝 一	ジェイアール東海コンサルタンツ (株)
〃	〃	岡三リビック / (株) アールシージージャパン
〃	加 藤 邦 人	(株) 豊田中央研究所
〃	今 尾 茂 樹	トヨタ自動車 (株)
〃	山 下 実	(株) ホワイトインパクト
応用生物科学部	高見澤 一裕	Meiji Seika ファルマ (株)
〃	中 野 浩 平	JA ぎふえだまめ部会 (ぎふ農業協同組合)
〃	矢 部 富 雄	カゴメ (株)

○受託研究 (平成25年 8月契約分)

部 局 名	研究代表者	企 業 等 名
医学部附属病院	小 関 道 夫	(独) 国立成育医療研究センター
〃	吉 田 和 弘	イーピーエス (株)
〃	〃	特定非営利活動法人日本がん臨床試験推進機構
〃	荒 木 寛 司	杏林製薬 (株)
工 学 部	國 枝 稔	(株) 大林組
〃	能 島 暢 呂	国立大学法人京都大学
〃	山 縣 裕	(株) MORESCO
〃	小 林 智 尚	信越化学工業 (株) 精密機能材料研究所
〃	本 城 勇 介	国土技術政策総合研究所
応用生物科学部	木 曾 真	(独) 医薬基盤研究所
〃	中 野 浩 平	岐阜県河川環境研究所
〃	大 場 伸 也	岐阜県土地改良事業団体連合会
〃	柳 井 徳 磨	小野薬品工業 (株) 福井研究所
〃	寺 本 好 邦	学校法人加計学園
連合創薬医療情報研究科	桑 田 一 夫	慶應義塾先端科学技術研究センター

外国人研究者の受け入れ

受入部局	氏 名 (国 名)	所属・職名	期 間	研 究 題 目
応用生物 科 学 部	SALWA ADEL HUSSIEN GHARIEB (エジプト)	メニア大学 アシスタント講師	25. 8. 1 ~ 26. 7. 31	プロバイオティクスに関する研究
〃	Nanung Agus Fitriyanto (インドネシア)	ガジヤマダ大学 助教	25. 8. 15 ~ 25. 11. 15	堆肥由来アンモニア硝化微生物の 機能に関する研究

主要日誌

月 日	行 事 名
8 / 1	連合創薬医療情報研究科入学試験 応用生物科学研究科修士課程入学試験（～2日まで）
2	岐阜大学長期インターンシッププログラム（GULIP）の開講式
4	留学生センター日本語・日本文化研修留学生の日本研究発表会
5	代議委員会（連獣）
6	オープンキャンパス（～8日まで） 研究科委員会（連創）
9	代議員会（連農）
10	高校生のための街なかオープンカレッジ2013 in 柳ヶ瀬（地）
12	夏期一斉休業（～13日まで 附属病院除く）
19	平成25年度岐阜県ユネスコスクール研修会
22	岐阜大学フェア in 飛騨高山2013
28	医学系研究科再生医科学専攻（博士前期課程・一般）入学試験（～29日まで） 工学研究科博士前期課程入学試験（～29日まで）
30	工学研究科博士後期課程入学試験